

2019年3月版



RATIO
COMPUTERS
iDive Color

iDive Color Easy, iDive Color Deep

ユーザーマニュアル
ver. 5.0



CONTENTS

はじめに 安全上の注意

- 5 警告
- 7 ナイトロックスと安全
- 8 ダイブコンピュータの限界
- 8 ダイブコンピュータのお手入れ／保管／メンテナンス
- 10 製品仕様
 - 10 ハードウェア
 - 10 CE, EN
 - 11 機能・仕様一覧
- 12 バッテリーの充電
 - 14 低水温でのダイビングについて

陸上での表示

- 15 iDive Colorの起動 (Wake up)
 - 15 プッシュボタンでの起動
 - 16 リストローテンションによる起動
- 17 メニュー構造
- 18 時計モード
- 20 時計メニュー
 - 21 DISPLAY (ディスプレイ設定)
 - 23 GENERAL (一般設定)
 - 24 DEFAULT SETTINGS (デフォルト設定)

- 25 TISSUES (窒素飽和状況) のリセット後
- 26 PC MODE (PCモード)
- 27 TRANSMITTERS (トランスミッター設定)
- 28 COMPASS (コンパス設定)
- 29 INFO (本体情報)
- 30 ALARM CLOCK (アラーム設定)
- 31 DATE & TIME (時刻・日付設定)
- 32 ダイブモード・ダイブメニュー
 - 33 LOGBOOK (ログブック)
 - 34 MIXES TABLE (ミックスガス設定)
 - 35 DIVE SET (ダイブ設定パート1)
 - 36 DIVE SET (アルゴリズム、個人調整の設定)
 - 37 DIVE SET (ダイブ設定パート2)
 - 38 ALARMS (ダイブアラーム)
 - 39 PLANNER (ダイブプランナー)
 - 40 PLANNER (デコプランナー)
- 41 コンパス機能 (陸上での表示)

ダイビング中の表示

- 43 ダイブモードでの表示
 - 43 メインデータとNDL (減圧不要限界)
 - 44 強制安全停止 (減圧停止)
 - 44 安全停止
 - 45 ディープストップ
 - 46 ダイブモードの詳細画面
 - 47 リアルタイムのダイブプロフィール
 - 47 体内窒素グラフ:

CONTENTS

- 48 ダイビング中のデコテーブル
- 49 ダイビング中のコンパス表示
- 50 ダイビング中のガス切り替え
- 51 ダイビング中のダイブ設定変更
- 52 ゲージモード
- 53 フリーモード

ダイビング後の表示

- 54 No-Fly (飛行機搭乗禁止時間)
- 55 サーフエス表示

iDive Colorのログ管理とファームウ

ェアのアップデート

コピーライト

免責事項

お問い合わせ

はじめに

この度はRATIO®のダイブコンピュータiDive Colorをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

iDive Colorはダイビングでの使用を目的とした非常に信頼性の高い高精度な電子機器です。
大容量のUSB充電式バッテリー、視認性に優れたカラー液晶表示や3Dデジタルコンパス、ガス切り替え、ワイヤレス・トランスミッター(オプション)を使用したタンク圧表示などの機能によりダイビングの経験を容易にしてくれます。

本製品をご使用いただく前に、このユーザーマニュアルをよくお読みいただきiDive Colorの機能に慣れ、新しいダイビングの世界をお楽しみください。

RATIO®のダイブコンピュータは専用のフリーソフトRatio Toolbox (レシオ ツールボックス) を使用してソフトウェアのアップデートができます。

最新の情報はホームページ <http://www.ratio-computers.com/> をご覧ください。

安全上の注意

警告



ダイビングでご使用いただく前には、ユーザーマニュアルの全ての項をよく読み理解した上でiDive Colorをご使用ください。またダイブコンピュータの限界、表示、使用方法を完全に理解してください。

この段階を怠ると深刻な障害または死亡を引き起こす事になります。

ダイブコンピュータを使用する場合はダイビング器材の正しい使い方を習得してから使用してください。不十分または誤った講習は重大な障害または生命に危険を及ぼす可能性があります。正しい講習、トレーニングに勝るコンピュータはないことを十分に理解してください。

ダイブコンピュータはダイビングの補助器材のひとつです。潜水する際には常にバックアップ器材(ダイブテーブル、時計、残圧計、水深計等)を使用する事を忘れず、常にダイブテーブルを確認できる準備を怠らないでください。

ダイビングにおいて減圧症・酸素中毒を完全に防ぐ方法やダイブコンピュータはありません。

例えば各自の体調や生理的現象等はその日その日で異なり、ダイブコンピュータはこれらの違いを把握する事はできません。安全のためにも、潜水前には医師による体調チェックをお奨めします。

減圧症は重大な障害または死につながる危険があります。

ダイブコンピュータを使用中は他のダイバーとの間で交換したり、共有してはいけません。

使用中に他のダイバーが使用した場合、コンピュータは不正確な情報を表示します。

コンピュータを使用しないでダイビングをした場合にはコンピュータは反復潜水などの引き続きのダイビングの計算はできません。従って、コンピュータなしでダイビングをした場合には安全のために、4日以内はコンピュータを使用しない事をお奨めします。

減圧停止を要求するダイビングはお奨めしません。

ダイブコンピュータが減圧停止を要求する表示になった場合には速やかに浮上して減圧を開始してください。

減圧症の可能性が増大すると思われるダイバー(体調不良等)は、個人調整モードで更に安全な設定を選択することができます。個人調整モードを誤って選択すると、減圧症の危険が増すとともにコンピュータが誤った情報を表示しますのでご注意ください。

ダイビングでご使用いただく前にはコンピュータの事前点検を必ず行ってください。

ダイビング開始前に全ての表示、バッテリーが十分に充電されてるか、液晶表示に異常がないか、酸素割合及び高度／個人調整等が正しく設定されているかを必ず確認してください。

電池残量が30%以下の場合にはダイビングで使用しないでください。

RATIO®のダイブコンピュータは職業ダイバー用ではありません。専門的もしくは業務レベルの精度を要する計測用途には使用しないでください。

RATIO®のダイブコンピュータはレクリエーション用のために設計されています。コマーシャル及びプロダイバーの要求は常に減圧症の危険を増すダイブプロフィールにダイバーをさらすため、このようなダイビングを計画するダイバーにはRATIO®のダイブコンピュータを使用する事をお奨めしません。

ダイバーは自分の安全は自分自身で責任を持たなければなりません。

RATIO®ではスポーツダイバーの最大深度を40mに限るか、コンピュータに設定された酸素割合(%)及び酸素分圧1.4barで計算された最大深度の限界を超えない事を強くお奨めします。より深い深度での曝露は酸素中毒と減圧症の危険を増大させます。

コンピュータに飛行機搭乗禁止マークの警告が表示されている間は飛行機搭乗を避ける事をお奨めします。

飛行機搭乗前にはコンピュータのスイッチをONにして、常に残留窒素時間(飛行機搭乗禁止時間)を確認してください。飛行機搭乗または高所に移動する時は減圧症の危険が増加します。

ナイトロックスと安全



ナイトロックスによるダイビングは窒素割合を減少させることにより、ダイバーの減圧症を低下させますが、酸素割合を増加させることは、ダイバーを酸素中毒の危険に徐々にさらすことになります。この危険を防ぐため、コンピュータは時間と酸素暴露の度合いを計算し、安全限界範囲内の酸素暴露を保持するために必要な情報をダイバーに与えてくれます。十分な理解と知識を得た上でご使用いただく必要があります。

ナイトロックス講習を受けていないダイバーはナイトロックスガスを使用したダイビングを行わないでください。

ご使用のダイビング器材がナイトロックスと互換性があるか必ず確認してください。

自分自身でシリンダーのナイトロックスの割合(%)を点検しないで潜水する事は大変危険です。シリンダー内の内容を間違えて使用したり、間違った酸素割合(%)をコンピュータに設定した場合には、誤った情報が表示され減圧症または酸素中毒につながる重大な事故になる可能性があります。

コンピュータに使用するタンクの酸素割合(%)が正しく設定されているか、また酸素分圧の設定が1.4barを超えていないことを必ず確認してください。

コンピュータは酸素割合(%)の小数点以下は設定できません。酸素割合(%)は小数点以下を切り捨てて設定してください。例えば、酸素割合が31.8%の場合、31%で設定してください。

この割合を切り上げて設定するとコンピュータが窒素割合(%)を過小評価し、減圧症の危険を増大させる原因となります。

ダイブコンピュータの限界



ダイブコンピュータは最新の安全ガイドラインと減圧研究をベースにしていますが、ダイビングにおいて減圧症・酸素中毒を完全に防ぐ方法やダイブコンピュータはありません。
またダイバー個々の生理的現象、体調などの違いをダイブコンピュータが認識できないことを十分に理解してください。

ダイブコンピュータのお手入れ／保管／メンテナンス

お手入れについて：

- 本機は絶対に分解しないでください。
- 本機をご使用後には常に真水に浸しきれいにすすぎ、柔らかい布で水分を拭き取り、塩の結晶や砂などがよく洗い流されているか確認してください。
- ウレタンストラップは汗や海水などで濡れたまま放置したり、湿気が多い場所に放置すると劣化が進みヒビ割れや切れたりすることがあります。ご使用後は常に本機をきれいにしてから保管してください。ヒビなどの症状がでたときはストラップを交換する必要があります。その際は製品をお買い上げの販売店にご相談ください。
- 本体やストラップを汚れたままにしておくと再使用時に汚れなどによって皮膚がかぶれることもありますので、皮膚が弱い方は特にご注意ください。

注意：

1. 本体を洗い流すのに勢いの強い水道水、シャワー、高圧洗浄機などを絶対に使用しないでください。
2. 本体の水分を除去するのに圧縮空気を使用しないでください。
3. 本体を傷つけるような洗浄液を使用しないでください。
4. 本体を水中以外の圧力がかかる状態で使用しないでください。

保管について:

- 直射日光のあたる場所や高温／低温／多湿、磁気を発する場所(テレビやオーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレスの近くなど)での保管は避けてください。※5℃～25℃の乾燥した場所での保管を推奨
- 長期間ご使用にならない場合には必ず本機のお手入れ後、保管してください。
- 本体が傷つくまたは破損する恐れがありますので、バッグの底の堅い場所、他のダイビング器材や重いものなどの下敷きになるような場所には保管しないでください。
- ガソリンやマニキュア、化粧品、クリーナー液、トイレ用洗剤、接着剤、アルコール類などが付着すると本体やストラップが変色したり、本体そのものを傷めることがありますので化学物質が発散している場所や、薬品にふれる場所には放置しないでください。

重要:

ダイブコンピュータはスリープモード(充電バッテリーの残量がある状態)で保管してください。
充電バッテリーの残量が0%で画面が表示されていない状態での長期間の保管は故障の原因となります。
また、長期間充電をしなかったことに起因するバッテリーの不具合は保証の対象外となります。
本機を使用していない場合でも、1カ月～2カ月に1回は充電していただくことをお奨めします。

ダイブコンピュータのメンテナンス:

- 以下の症状が見られる場合には、すぐに販売店に点検をご依頼ください。
 1. コンピュータのガラス面内側に水滴がついたり、水漏れがおきたと思われる場合
 2. 充電バッテリーの消費が極端に早くなった場合
 3. 本体にヒビや変形などの異常が見られる場合

重要:

どのような状態・状況においても本体を分解しないでください。正規サービスセンター以外の場所で分解された製品は保証の対象外となります。

製品仕様

ハードウェア

● 材質

ベゼル・ボタン・インターフェイスカバー・バックカバー：ステンレススチール
本体ケース：コンポジット ガラス：ミネラルガラス

● 液晶

TFT, IPS, 1.3インチ, 240x240 ピクセル, 261ppi, マトリクスカラー液晶

● 水深表示 : 0~130 m

● 防水性能 : 150m / 500ft

● 絶対気圧の計測精度

0 ~ 5 bar	: -20 mbar ~ +20 mbarの誤差
0 ~ 10bar	: -40 mbar ~ +20 mbarの誤差
0 ~ 14bar	: -100 mbar ~ +20 mbarの誤差

● 温度表示の計測精度: -2 / +6℃ ※腕から外した状態での計測

● 供給電圧: 5V c.c. +/-0.2V 500mAh

CE, EN

RATIO® 製品はEU (欧州連合) によるEMCの指導の規格並びに、CE EN13319, ETSI EN 301 489-3, EN 61000-6-1, EN 61000-6-3の規格に適合しています。

機能・仕様一覧

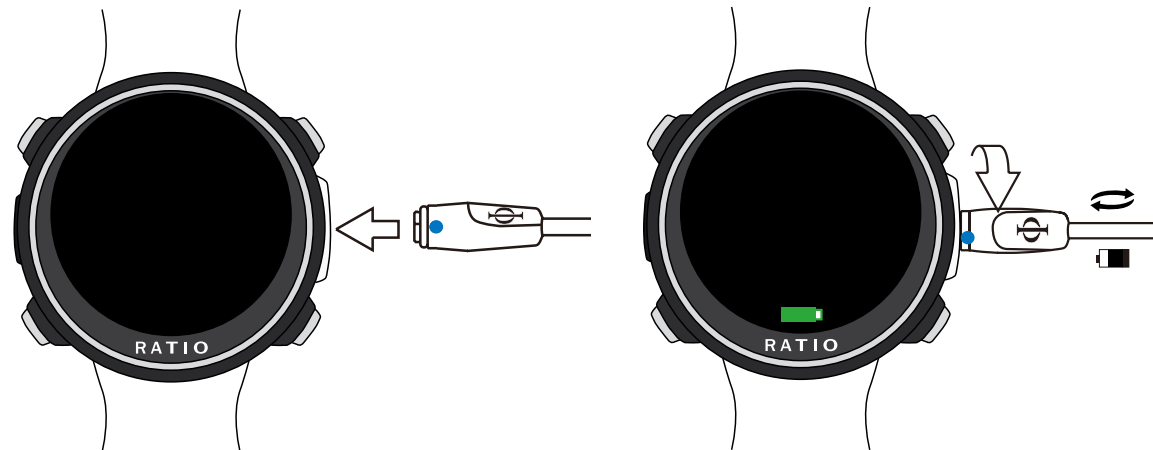
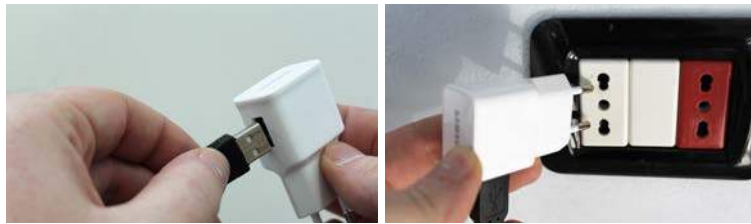
Ratio® Computers	iDive Color Easy	iDive Color Deep
ダイブモード	エアー / ナイトロックス / ゲージ / フリー	エアー / ナイトロックス / トライミックス / ゲージ / フリー
ミックス	2ミックス / O ₂ : 21 ~ 99 %	3ミックス / O ₂ : 18% - 99% / He: 0% - 50%
アルゴリズム	ビュールマン ZHL-16 B	ビュールマン ZHL-16 B / VPM-B
アルゴリズム調整	6 段階	12段階 (ビュールマン 6段階、VPM 6段階)
アルゴリズム調整 (ダイビング中)	●	●
減圧計算	●	●
ガス切り替え	●	●
PO2の設定	1.2 ~ 1.6	1.0 ~ 1.6
CNSの計算	●	●
高所設定	自動	自動
水質	塩水 / 真水	塩水 / 真水
ディーブストップ	●	●
安全停止の調整	分 / 深度	分 / 深度
警告	アラーム音 + 画面	アラーム音 + 画面
ダイブプランナー	●	●
エアー インテグレーション	● (オプション)	● (オプション)
マルチエアー インテグレーション	最大2つのトランスミッター (オプション)	最大3つのトランスミッター (オプション)
ナイトロックス アナライザー	● (オプション)	● (オプション)
コンパス	3D, 解像度 1°	3D, 解像度 1°
アウトドア機能	高度 / 気圧 / 気温 / 天気予測	高度 / 気圧 / 気温 / 天気予測
その他	ストップウォッチ / 月齢	ストップウォッチ / 月齢
液晶	TFT, IPS, 1.3インチ, 240x240 ピクセル, 261ppi, マトリクスカラー液晶	TFT, IPS, 1.3インチ, 240x240 ピクセル, 261ppi, マトリクスカラー液晶
表示アングル	最大150°まで	最大150°まで
ガラス	ミネラルガラス	ミネラルガラス
ベゼル / ボタン	ステンレススチール	ステンレススチール
ケース	コンポジット	コンポジット
バックカバー	ステンレススチール	ステンレススチール
最大深度	150 mt / 500 ft	150 mt / 500 ft
エクステンション ストラップ	● (付属)	● (付属)
バッテリー	USB充電 (Li-ion) ~ 20潜水時間 1 ~ 2 ヶ月 (時刻表示のみ)	USB充電 (Li-ion) ~ 20潜水時間 1 ~ 2 ヶ月 (時刻表示のみ)
ログメモリー	160潜水時間 (サンプリングレート10秒)	160潜水時間 (サンプリングレート10秒)
データ転送	● PC / Mac	● PC / Mac
ファームウェア アップデート	●	●



バッテリーの充電

iDiveは充電式Li-Ionバッテリーを使用しています。1回のフル充電で最大20潜水時間使用することができます。残量表示は本体の設定、使用の環境(気温)、バックライトの設定、液晶の明るさの設定などにより、最大 ±15%誤差が生じます。

重要! iDiveを初めてご使用になる前には、必ずフル充電してください。
危険! バッテリー残量が30%以下の場合はダイビングに使用しないでください。



iDiveを充電する場合には、付属のUSBケーブルを使用してください。(USBアダプタは付属されておきませんので、市販の製品をご使用ください。スマートフォン、タブレットで使用するUSBアダプタをご利用いただけます。)
充電をされる場合には、家庭用電源からの充電を推奨します。
バッテリー残量によって異なりますが、3～5時間でフル充電が可能です。

パソコンでの充電はお奨めしておりません。パソコンからの充電のみを繰り返し行った場合、バッテリーの充電サイクルが極端に短くなることがありますのでご注意ください。

iDiveを充電中は "CHG" マークが表示され、充電が終わるとマークが消え、スリープモードに入ります。

Li-Ionバッテリーはメモリー効果*が起こりにくい特性がありますが、充電の際にはフル充電していただくことをお奨めします。

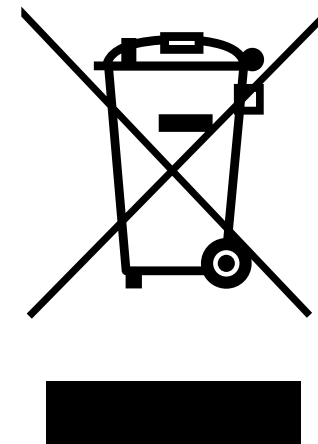
*メモリー効果＝100%使い切る前に充電を繰り返し行くと、本来の容量よりも充電可能な容量が少なくなること。

iDiveは過充電を防ぐために充電が完了後スリープモードに入る機能がありますが、100%充電されたことを確認したら、電源から外していただくことをお奨めします。

iDiveのファームウェアアップデート後にはフル充電してからご使用いただくことをお奨めします。

重要! 長期間(4カ月以上)充電がされない状態で保管すると、充電バッテリーを傷める恐れがあります。

- iDiveはスリープモード(充電バッテリーの残量がある状態)で保管してください。
- 充電バッテリーの残量が0%で画面が表示されていない状態での長期間の保管は故障の原因となります。また、長期間充電をしなかったことに起因するバッテリーの不具合は保証の対象外となります。
- 本機を使用していない場合でも、1カ月～2カ月に1回、もしくは充電残量20%を下回った場合に前には充電していただくことをお奨めします。



低水温でのダイビングについて

iDive Colorは水温3℃以下でも使用できますが、気温・水温が低い場所での使用は、バッテリーの消費が極端に早くなる場合があります。

このような環境で使用する場合は、ご使用前にiDive Colorを充電していただくことをお奨めします。

重要!

バッテリー残量が50%以下の場合、3℃以下の気温・水温で使用しないでください。

ご使用前に、十分なバッテリー残量があることを確認してから使用してください。



陸上での表示

iDive Colorの起動 (Wake up)

プッシュボタンでの起動

A または **D** ボタンを押すとiDive Colorの時計モードが起動します。
時計モードではバッテリーの消費を防ぐため、10秒で表示が消える仕様になっています。



リストローテンションによる起動

iDiveはリストローテンションで起動させることができます。

リストローテンションでの起動は下図のようにiDiveを90°以上傾けてから素早く手首を元のいちに戻すと約2秒後に起動します。



iDiveを90°以上傾ける



素早く戻すと約2秒後に起動



注意: iDiveがスリープモードに入っているときにはリストローテンションでの起動はできません。

iDiveを傾ける角度は、リストローテンションの感度によって異なります。

スリープモードは電池の消耗を防ぐため、一定の時間を過ぎたらプッシュボタンのみでしか起動できなくする機能です。スリープモードの設定は**DISPLAY設定のSLEEP**で変更することができます。

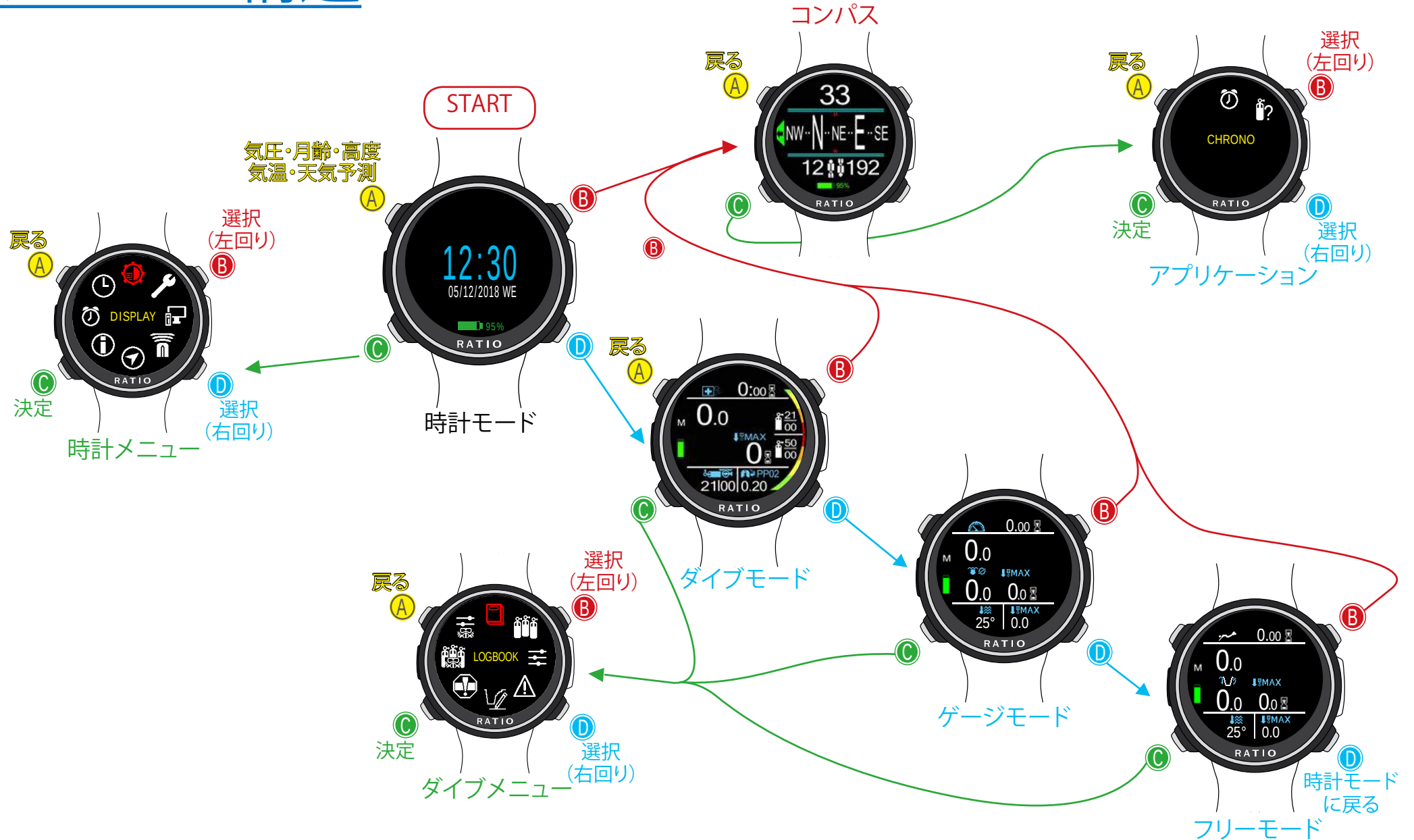
【iDiveのDISPLAY設定のSLEEPのデフォルト設定="L05"】

L = リストローテンションの感度"低"、05=5分後にiDiveがスリープモードに入る

● 設定の例① (電池消費が早い)
リストローテンションのみで起動する設定
DISPLAY設定のSLEEPを"H00"に設定
H=感度"高"、00=スリープモードオフ

● 設定の例② (電池消費がデフォルトより早い)
スリープモードに入る時間を長くする設定
DISPLAY設定のSLEEPを"H15"に設定
H=感度"高"、15=15分後にスリープモード

メニュー構造



時計モード

- バッテリー残量表示 (画面下段)
緑色 (100%~50%) :ダイビングで使用可能
黄色 (50%~20%) :ダイビング充電を推奨
※低水温 (3℃以下) でのダイビングでは使用不可
赤色 (20%以下) :要充電、ダイビングでは禁止

重要:バッテリー残量が30%以下の場合は、ダイビングでは使用しないでください。

- 時刻・日付 (画面中央)
現在の時刻・日付が表示されます。
午前・・・時刻が白文字で表示 午後・・・時刻が青文字で表示

iDive Colorでは2つの異なるタイムゾーン (UTC1, 2) を表示できます。
時刻・日付・タイムゾーンの設定は、**時計メニューのDATE TIME**で設定します。

- ウェザーインフォメーション
Aボタンで以下を表示できます。
・月齢 ・気圧 (mb) ・高度 (m)

上記の表示で再度Aボタンを押すと以下を表示
・気温 (℃)
・天気予測 (グラフ)

気圧・月齢・高度
気温・天気予測

A



A



A



● 月齢

月齢表示機能では設定された西暦、日付に基づいた月の満ち欠けと月齢を表示します。

白抜き表示・・・満月 黒塗り表示・・・新月 数字・・・月齢



● 気圧表示

現在地の気圧がミリバール(mb)で表示されます。

注意:ダイビング後、センサーが完全に乾ききっていない状態では、湿気の影響で気圧表示が低くなることがあります。

● 高度表示(気圧ベース)

計測した気圧をベースに海拔高度を表示します。

注意:高度は絶対気圧をベースに計算しています。気圧の変化、湿度の影響、ダイビング後などの影響により±80m程の誤差がでることがあります。

● 気温表示

現在地の気温(℃)表示します。

注意:本体ケースの温度を感知するため、腕につけているときなどは体温を感知するため正確に気温を計測することができません。その場合は、本体を腕から外し20分程してから気温を確認してください。尚、水中では5分程で正確な水温を表示します。

● 天気予測

ブルーのグラフで18時間前からの気圧の測定に基づいて表示されます。信頼度の高い天気予測を行いたい場合には、同じ高度(場所)でご使用ください。

注意:±50mの高度変化があった場合、その後3～5時間は天気予測の表示の信頼度は低くなります。

ダイビング後、センサーが完全に乾ききっていない状態では、湿気の影響で気圧表示が低くなることあるため、天気予測の信頼度が低くなります。

時計メニュー

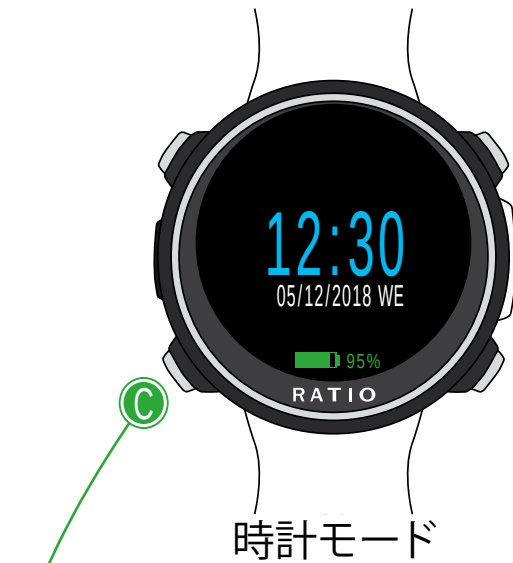
時計モードで:

Cボタン ➡ 時計メニューを表示

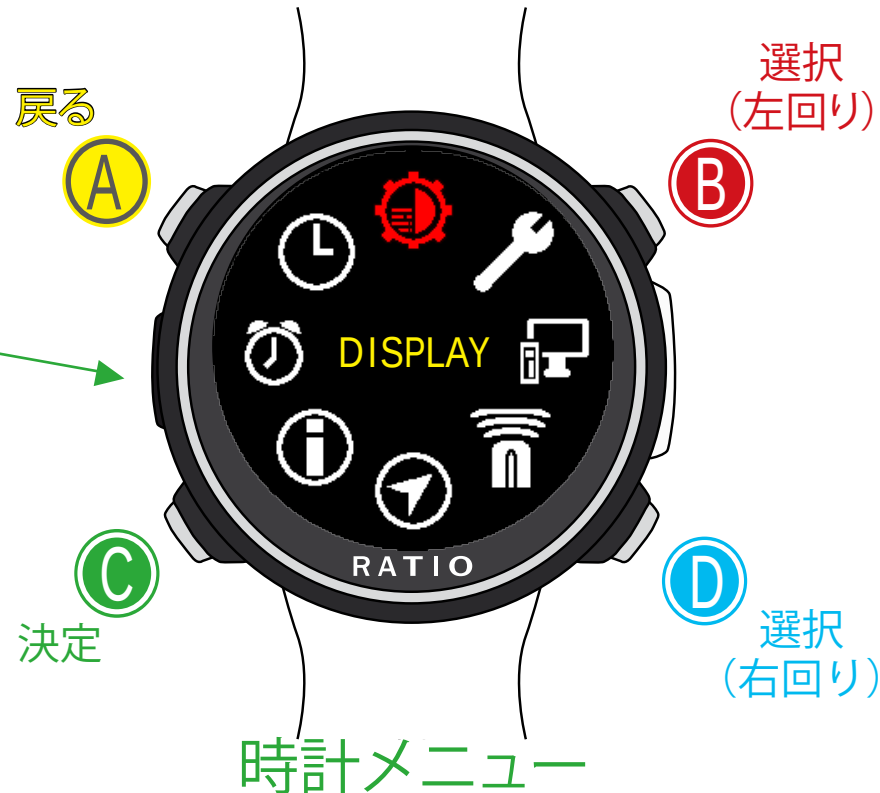
時計メニューで:

BまたはDボタン ➡ 設定項目を選択 ➡ Cボタンで決定
選択されている設定項目は赤(デフォルト設定)で表示されます。

ポイント:メニュー・設定項目のカラーをDISPLAYから変更もできます。



時計モード



時計メニュー

DISPLAY (ディスプレイ設定)

ディスプレイ設定の表示:時計メニュー → Cボタン

DISPLAY設定の内容一覧



●BACKLIGHT ディスプレイの明るさ調整(1暗~15明)



●SLEEP スリープモードの設定(L00~15 / H00=15)

電池の消耗を防ぐため、一定の時間を過ぎたらプッシュボタンのみでしか起動できなくする機能です(リストローテンションをオフにする機能)。

L = リストローテンションの感度"低"

H = リストローテンションの感度"高"

00~15 = スリープモードに入るまでの時間(分) ※00 = スリープモードのオフ

【設定例】

L05 = バッテリー消費が低い設定

リストローテンションの感度"低" + 5分後にスリープモード(リストローテンションをオフ)

※スリープモードからiDiveを起動するにはAまたはDボタン

L00 = おすすめ設定① (L05より電池消費が高い)

リストローテンションの感度"低" + スリープモードのオフ

※120°以上のリストローテンションと素早い手首の返しで起動

AまたはBボタンでの起動も可能

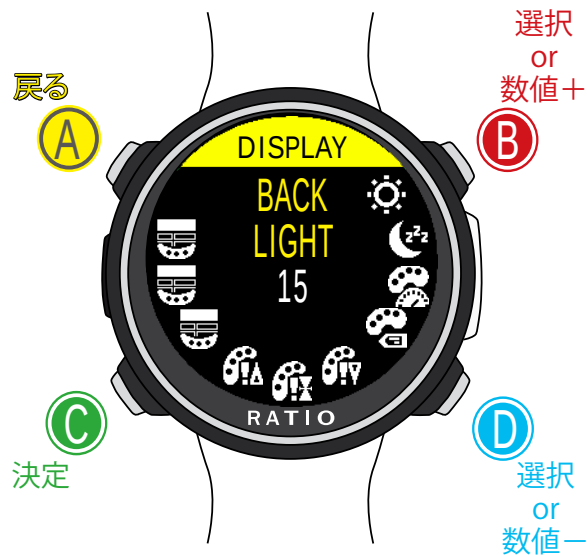
H00 = おすすめ設定② (L00より電池消費が高い)

リストローテンションの感度"高" + スリープモードのオフ

※90°以上のリストローテンションと素早い手首の返しで起動

AまたはBボタンでの起動も可能

リストローテンションでの起動方法はこちら



【項目の選択・設定の手順】

BまたはD → 設定したい項目を選択

→ Cで決定

BまたはD → 数値の+/-、値の変更

→ Cで決定



DATA COLOR: ダイブデータのカラー変更 (水深、ダイブタイム、NDLなど)



LABEL COLOR: ダイブモード内レーベルのカラー変更



ALARM LOW COLOR: 表示アラーム優先度"低"のカラー変更



ALARM MED COLOR: 表示アラーム優先度"中"のカラー変更



ALARM HIGH COLOR: 表示アラーム優先度"高"のカラー変更



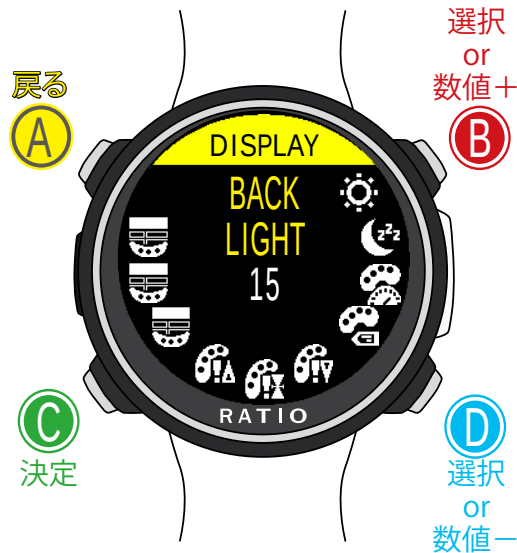
MENU TITLE COLOR: 設定メニュータイトルのカラー変更



MENU ITEMS COLOR: 設定項目のカラー変更



MENU SEL COLOR: 設定項目が選択されているときのカラー変更



【項目の選択・設定の手順】

BまたはD → 設定したい項目を選択

→ Cで決定

BまたはD → 数値の+/-、値の変更

→ Cで決定

GENERAL (一般設定)

一般設定の表示:時計メニュー → DでGENERALを選択 → Cボタン



UNITS: メトリック (m/°C) または インペリアル (ft/°F) の設定



SEA REF PRESSURE: 海面気圧の設定

気象庁が公開しているアメダスなどの情報から、現在地付近の海面気圧を参考にすることができます。



DEFAULT SETTINGS: **デフォルト設定** (次ページ参照)



SWITCH OFF: iDiveのオフ機能

【項目の選択・設定の手順】

BまたはD → 設定したい項目を選択

→ Cで決定

BまたはD → 数値の+/-、値の変更

→ Cで決定

DEFAULT SETTINGS (デフォルト設定)

デフォルト設定の表示:時計メニュー → DでGENERALを選択 → Cボタン
GENERALのメニュー → DでDEFAULT SETTINGを選択 → Cボタン



- SETTINGS: ☐ (非選択) / ☒ (選択)

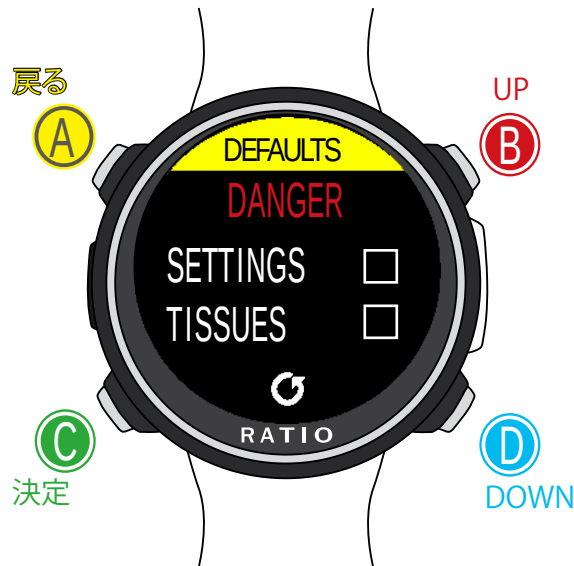
窒素飽和状況に関するデータと日付を除く全ての設定が工場出荷時の状態にリセットされます。

例:時刻 (UTC1,2)、MIX設定、アラーム設定、カラー設定など

- TISSUES: ☐ (非選択) / ☒ (選択)

窒素飽和状況に関するデータがリセットされます。

- EXECUTE: ☒ (選択) されている項目をリセットを実行



!警告!



- 特別な理由がない限り、このTISSUES設定をリセットしないでください。ダイビング後48時間以内にリセットした場合には、iDiveは反復潜水における減圧情報を正しく表示できません。
- 1人のダイバーが常に本機を使用する場合は、TISSUES設定を絶対にリセットしないでください。
- 間違った認識によるTISSUESのリセット操作は最悪の場合、重症事故や死亡事故につながる危険があります。
- 設定のリセットは常にユーザーの自己責任で行ってください。

TISSUES (窒素飽和状況) のリセット後

デフォルト設定で“TISSUES (窒素飽和状況)”をリセット後はiDiveのメイン画面に警告が表示されます。

日付の下に“TISSUES RESET”が表示

48時間以内にいかなるダイビングも行っていない場合、警告は無視することができます。
この警告は次にダイビングが行われるまで継続して表示されます。



PC MODE (PCモード)

PCモードの表示:時計メニュー → DでPC MODEを選択 → Cボタン



【項目の選択】

BまたはD → PC MODEを選択

→ Cで決定

※READYと表示されたら接続可能

PC MODE起動中に

→ AまたはCで終了



iDiveはPC/Macに接続し以下のことができます。
用途によって使用するソフトウェアが異なります。

- ① Ratio Toolbox
 - ファームウェアのアップデート
 - 時刻調整
 - 言語変更 (英語、ドイツ語、イタリア語) 2019年3月現在
 - ユーザー設定のリセット
- ② Subsurface (英語) 2019年3月現在
 - ログのデータ転送
 - ログの管理

Windows用

- [Ratio Toolbox](#)
- [Subsurface](#)

Mac用

- [Ratio Toolbox](#)
- [Subsurface](#)

注意:上記のリンクは変更されることがあります。その場合は、[Ratioサポートページ](#)よりご確認ください。

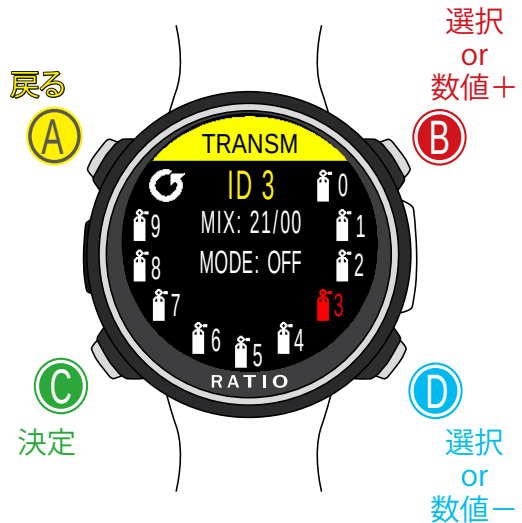
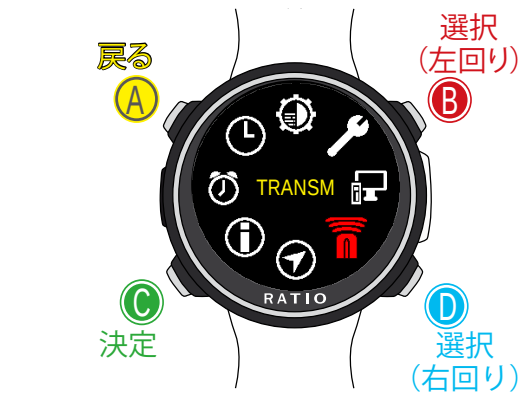
TRANSMITTERS (トランスミッター設定)

トランスミッター設定の表示:時計メニュー ➡ DでTRANSMを選択 ➡ Cボタン

iDive Color には別売りのトランスミッターを複数接続し、ダイビングの残圧、RBT などを確認することができます。

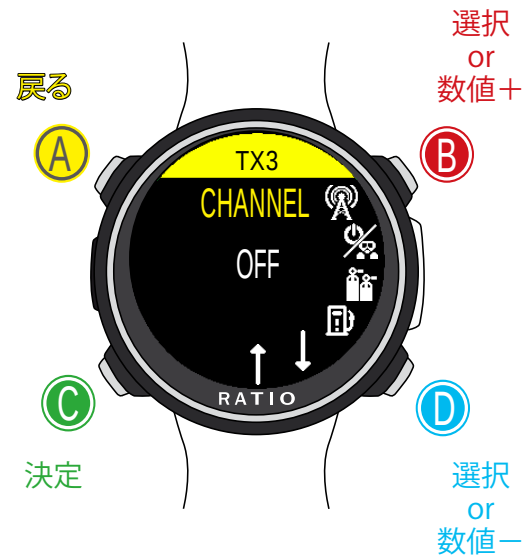
iDive Color Easy:最大2個まで接続可能
iDive Color Deep:最大3個まで接続可能

トランスミッターの詳しい使い方は[ホームページ](#)よりご確認ください。



【項目の選択・設定の手順】

- BまたはD ➡ 設定したい項目を選択
- ➡ Cで決定
- BまたはD ➡ 数値の+/-、値の変更
- ➡ Cで決定



COMPASS (コンパス設定)

コンパス設定の表示:時計メニュー → BまたはDでCOMPASSを選択 → Cボタン

COMPASSメニューではコンパスの調整、偏差補正の設定が行えます。



SET DECLIN: 偏角設定

実際の北と磁北の差を補正することができます。偏角は海図や国土地理院ホームページの地磁気測量で調べることができます。

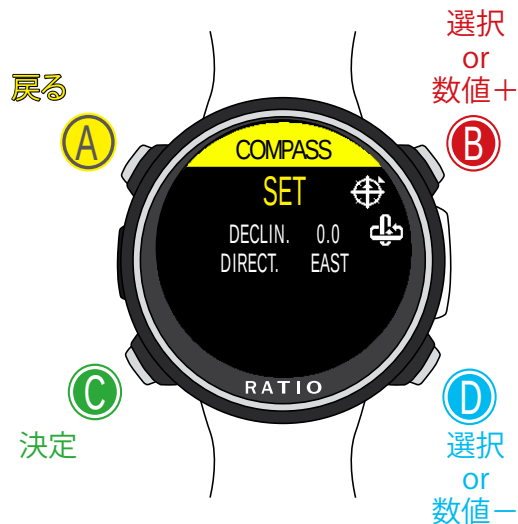
SET DIRECT: 西偏／東偏の設定

磁北が真北より東側にある場合は東偏、西側にある場合は西偏。日本では南鳥島(偏角0度)を除く全ての地域で西偏となっています。(2019年3月現在)



CALIB: カリブレーション (調整)

EXECUTE (実行) を選択し、BまたはD ボタンで調整をスタートします。調整は屋外で行うことをお勧めします。テレビやパソコンなどの磁気を発する物の近くで行なわないでください。



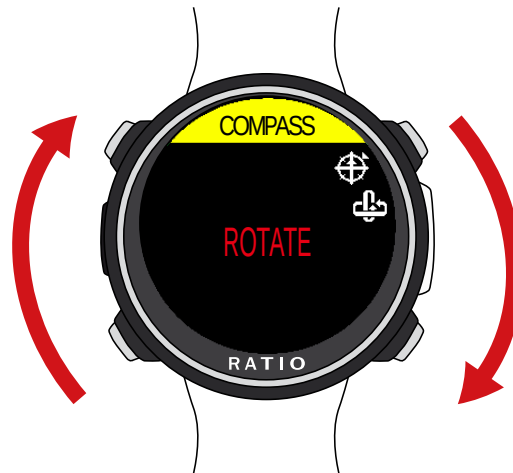
【項目の選択・設定の手順】

BまたはD → 設定したい項目を選択

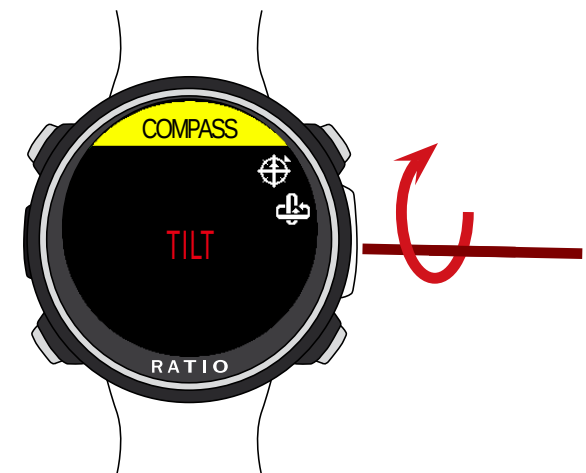
→ Cで決定

BまたはD → 数値の+/-、値の変更

→ Cで決定



"TILT"が表示されるまで、
本機を水平に保ちにゆっくりと回転



"DONE"が表示されるまで、
本機を垂直方向にゆっくりと回転

INFO (本体情報)

本体情報の表示:時計メニュー ➡ BでINFOを選択 ➡ Cボタン



INFOでは以下の情報を確認できます。



MODEL: お使いのiDive Colorのモデル (EASYまたはDEEP)

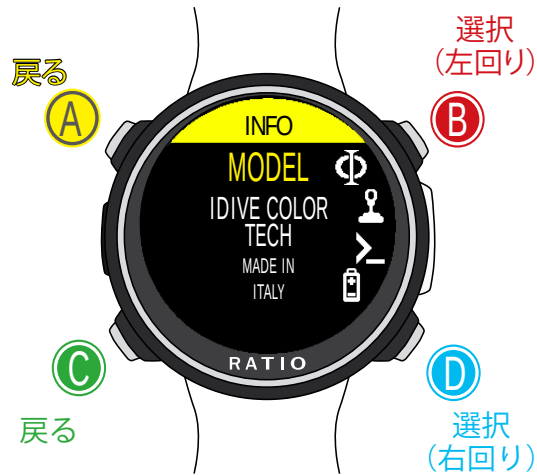


SERIAL: シリアルナンバー

FW VERS. (Firmware Version): ファームウェアのバージョン



BATTERY: バッテリー残量



ALARM CLOCK (アラーム設定)

アラーム設定の表示:時計メニュー → BでALARM CLOCKを選択 → Cボタン



SET:アラームを鳴らす時刻の設定



ENABLE:アラームのON/OFFの設定

アラームが時刻になると画面にアラームマークが表示されビープ音が鳴ります。アラームはA～Dボタンをどれかひとつ押すと止まります。アラームをOFFにしない限り、翌日も設定時間にアラームが鳴ります。



【項目の選択・設定の手順】

BまたはD → 設定したい項目を選択

→ Cで決定

BまたはD → 数値の+/-、値の変更

→ Cで決定

DATE & TIME (時刻・日付設定)

時刻・日付設定の表示:時計メニュー → BでALARM CLOCKを選択 → Cボタン



TIME: 時刻の設定 (GMT)

時刻はGMT (グリニッジ標準時) に現在地のUTC (タイムゾーン) の設定を行います。



DATE: 日付の設定



UTC1 (タイムゾーン1) の設定: 現在いる場所の時刻で使用



UTC2 (タイムゾーン2) の設定: ホームの時刻で使用

※日本のUTCはGMT+9:00

UTC1と2が異なるタイムゾーンに設定されているときは、時刻表示が左右に分かれて表示されます。(左側にUTC1、右側にUTC2)

!重要!

UTC1に設定されている時刻がログに記録される時刻なります。

海外で使用する場合には、UTC1に現地のタイムゾーンを設定してください。



【項目の選択・設定の手順】

BまたはD → 設定したい項目を選択

→ Cで決定

BまたはD → 数値の+/-、値の変更

→ Cで決定



FORMAT: 時刻フォーマットの設定

24...24時間表示 12...12時間表示

24+YMD...24時間表示+西暦/月/日の表示



RING COLOR: 時計モードの液晶外周に表示されるリングカラーの選択

※黒に設定すると、リング表示がなしになります。

ダイブモード・ダイブメニュー



時計モード

ダイブモードの表示:

時計モードでDボタン

※時計モードからDボタンを押す度

ダイブモード ➡ ゲージ ➡ フリー ➡ 時計モードの順に切り替わります。

ダイブメニューの表示:

ダイブモード(ゲージ、フリー)モードでCボタン

ダイブメニューでBまたはDボタン ➡ 設定項目を選択 ➡ Cボタンで決定

選択されている設定項目は赤(デフォルト設定)で表示されます。

戻る

A



ダイブモード

戻る

A



決定

ダイブメニュー

選択
(左回り)

B

選択
(右回り)

D

LOGBOOK (ログブック)

ログブックの表示:ダイブメニュー → Cボタン

ログの見方:

- !!赤く選択されている状態 → Cボタン → ひとつ前のログを表示
- !!赤く選択されている状態 → Cボタン → 次のログを表示
- !!グラフ画面のときに赤く選択されている状態 → Dボタン → ログの詳細画面を表示
- ①赤く選択されている状態 → ログの詳細の続きを確認

ログの内容一覧:

①グラフ画面(左図2番目)

- ログが記録された日付・エントリー時刻
- RT:ダイブタイム(分)
- MAX:最大到達新語
- 00/00(グラフ画面下中央):ログ番号

※左:表示されているログ番号/右トータルのログ本数 ※ログは00から1本目

②詳細1(左図3番目)

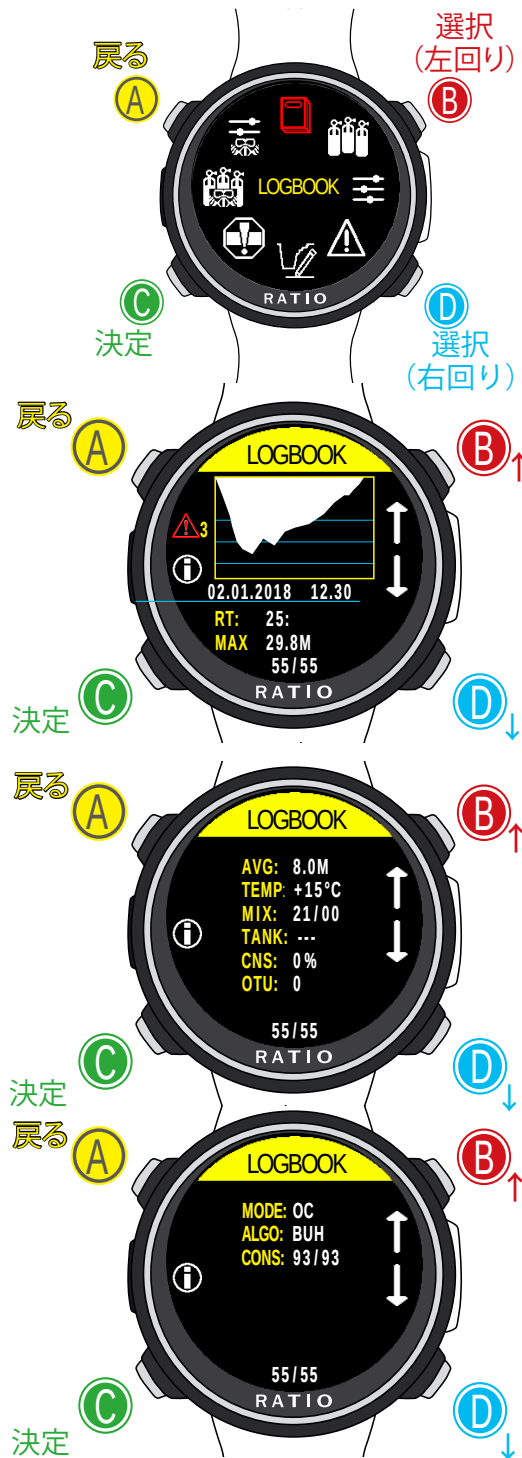
- AVG:平均深度
- TEMP:水温(記録された最低水温)
- MIX:使用したメインガス
- TANK:ダイビング終了時のタンク残圧(トランスミッターを使用時、未使用時は"---")
- CNS:CNS %
- OTU:OTU

③詳細2(左図4番目)

- MODE:使用したダイブモード(OC=オープンサーキット)
- ALGO:アルゴリズム
- CONS:選択したアルゴリズムの調整値

④グラフ画面(左図2番目)内△の意味

- !1 ダイビングの前にDEFAULTメニューでTISSUES(組織飽和の情報)がリセットされた
- !2 ダイビングの前にDEFAULTメニューでSETTINGS(組織飽和の情報を除く全ての設定)がリセットされた
- !3 ダイビングの前にDEFAULTメニューでSETTINGSとTISSUESがリセットされた
- !128 DECO CTRLの設定がオフのログ
- !129 DECO CTRLの設定がオフのログでダイビングの前にDEFAULTメニューでTISSUES(組織飽和の情報)がリセットされた



MIXES TABLE (ミックスガス設定)

ミックスガス設定の表示: ダイブメニュー → DでMIXES TABLEを選択 → Cボタン

iDive Colorカラーではモデルにより設定のできるミックスガスの数が異なります。

●iDive Color Easy :2ミックス/O₂ 21%~99%

●iDive Color Deep:3ミックス

Mix 1: O₂ 18%~99%、He 0%~50%

Mix 2-3: O₂ 18%~99%

警告!ナイトロックス、トライミックスの講習を受けていないダイバーは絶対にこの機能を使用しないでください。

警告!使用するタンクのO₂%、He2%がiDive Colorに正しく設定されていることを必ず確認してください



表示の意味: O₂の場合=酸素、下の数字:割合 (%) の設定値



表示の意味: HEの場合=ヘリウム、下の数字:割合 (%) の設定値

注意!ミックスガスは100%を超えて設定することはできません。

例:He%を95%に設定した場合、O₂%は自動的に5%に設定されます。



PpO₂:酸素分圧の設定値



ENABLE / DISABLE: 設定したミックスのON/OFF

ENABLE=ON 表示が **グリーン**

DISABLE=OFF 表示が **ブルー**



MIX1~3の切り替え

ポイント:

ミックス設定のON/OFFはダイビング中でも行えます。これは万が一、ON/OFFの設定を忘れてしまったときに使えますが、ダイビング前に使用するガスの設定を必ず確認してください。



【項目の選択・設定の手順】

BまたはD → 設定したい項目を選択

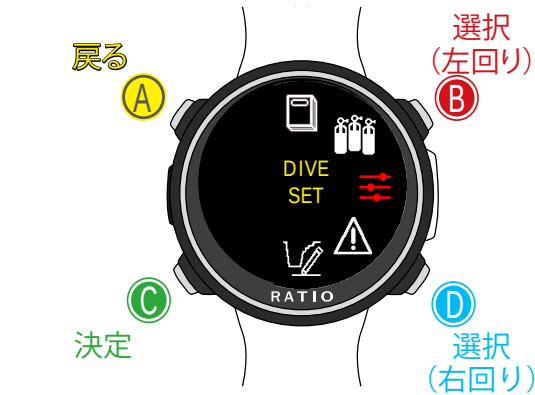
→ Cで決定

BまたはD → 数値の+/-、値の変更

→ Cで決定

DIVE SET (ダイブ設定パート1)

ダイブ設定の表示:ダイブメニュー → DでDIVE SETを選択 → Cボタン



WATER: SALT (塩水) / FRESH (真水)

重要!淡水でのダイビングではダイバーにかかる圧力が異なります。浮上速度、安全停止の水深、ダイブテーブルの引きかたなども異なるため、淡水でダイビングを行う場合には必ず設定を変更してください。



DIVE MODE: 水中に入ったとき、自動的に起動するモード設定

重要!ダイビング前には必ずこの設定を確認してください。

SCUBA ... ダイブモード

GAUGE ... ゲージモード

FREE ... フリーモード

注意!安全上の理由により、ダイブモードまたはゲージモードを使用後12時間はフリーモードをDIVE MODEに設定できません。



ALGO, CONSERV: **アルゴリズム、個人調整 (次ページ参照)**



DECO CTRL: デココントロールのON/OFF設定

ON ... 減圧不要限界 (NDL) を超えるダイビング、減圧停止違反 (無視)、浮上速度違反など複数の違反があった場合に12時間、次のダイビングで使用できなくする設定

注意!推奨安全停止は減圧不要限界 (NDL) を超えないダイビングにおいては強制の安全停止ではありません。万が一推奨安全停止を無視しても次のダイビングにペナルティが加わることはありません。

注意!減圧不要限界 (NDL) を超えるダイビングを行った場合、推奨安全停止の代わりに減圧停止の指示が表示されます。また反復潜水においては減圧不要限界 (NDL) の時間内でダイビングを行っていても、蓄積された窒素量や直近のダイビングの状況によって推奨安全停止の代わりに減圧停止の指示が表示されることがあります。

【項目の選択・設定の手順】

BまたはD → 設定したい項目を選択

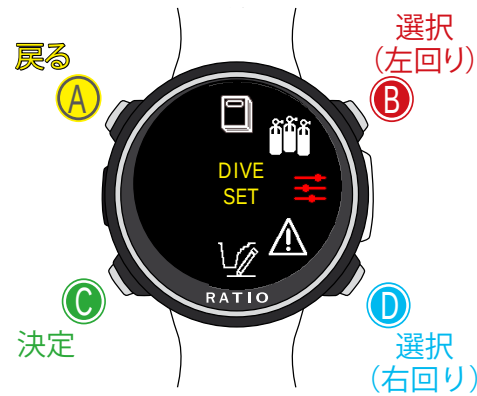
→ Cで決定

BまたはD → 数値の+/-、値の変更

→ Cで決定

DIVE SET (アルゴリズム、個人調整の設定)

ダイブ設定の表示:ダイブメニュー → DでDIVE SETを選択 → Cボタン



ALGO: アルゴリズムの設定

BUH: Bühlmann ZHL-16 B (iDive Color Easy、iDive Color Deep)

VPM: VPM-B (iDive Color Deep)



CONSERV: アルゴリズムの個人調整 (PS: 0~5)

iDive をダイブモードで使用する場合、アルゴリズムを調整できます。減圧症にかかる可能性は、各ダイバーにより、またその日その日のダイバーの体調によっても異なりますが、事前に予知することで減圧モデルに6段階で設定することが可能です。

次の場合は限定されませんが減圧症の危険を増大させます。

- 20度以下の水温での曝露
- 平均体力以下のダイバー
- 疲労
- 脱水症状
- 過去に減圧症の経験者
- ストレス
- 肥満

Bühlmann ZHL-16 B (gradients)

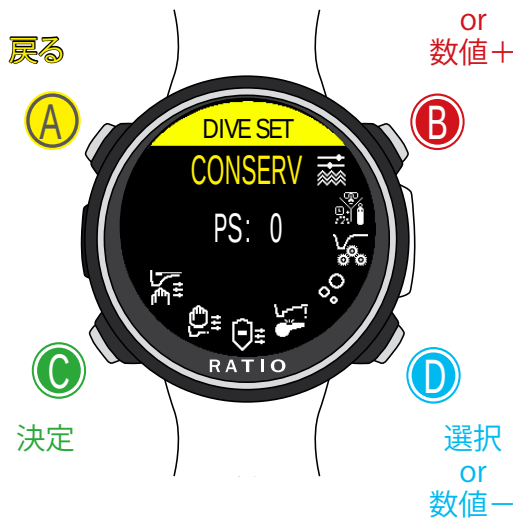
GFL/GFH

0 = 93/93	スタンダード設定
1 = 90/90	↓
2 = 80/80	↓
3 = 75/75	↓
4 = 30/90	↓
5 = 20/89	厳しい設定

VPM -B (Critical bubble radius)

※iDive Color Deepのみ

0 = 0.5	スタンダード設定
1 = 0.55	↓
2 = 0.6	↓
3 = 0.7	↓
4 = 0.8	↓
5 = 0.9	厳しい設定



【項目の選択・設定の手順】

BまたはD → 設定したい項目を選択

→ Cで決定

BまたはD → 数値の+/-、値の変更

→ Cで決定

DIVE SET (ダイブ設定パート2)

ダイブ設定の表示:ダイブメニュー → DでDIVE SETを選択 → Cボタン



S.STOP. TIME:推奨安全停止時間 (OFF～9分の範囲) の設定

S.STOP. DEPTH:推奨安全停止深度 (3～9mの範囲) の設定

推奨安全停止は、設定した深度の0.9m深い深度から機能します。

例:5mに設定された場合、5.9mからが推奨安全停止の範囲

注意!減圧不要限界 (NDL) 超えるダイビングでは強制安全停止が10m～1mの間に表示されます。



DEEP STOP:ディープストップ (ON/OFF) の設定

ONに設定すると最大深度の半分の深度で2.5分間の停止指示が表示されます。



LAST STP (Last Stop) :一番浅い推奨安全停止深度 (1～10m) の設定

注意! NDL (減圧不要限界) を超えるダイビングでは機能しません。

【項目の選択・設定の手順】

BまたはD → 設定したい項目を選択

→ Cで決定

BまたはD → 数値の+/-、値の変更

→ Cで決定

ALARMS (ダイブアラーム)

ダイブアラームの表示:ダイブメニュー → BまたはDでDIVE SETを選択 → Cボタン



BUZZER:ビープ音のON/OFF設定



ASCENT SPEED:浮上速度警告のON/OFF設定



MOD:使用しているガスでのMOD (最大潜水可能水深) を超えた場合のアラームのON/OFF設定



DECO VIOL (Deco Violation):減圧違反警告のON/OFF設定
※減圧停止を無視した場合、完全に終了しなかった場合の警告
※DEEP STOP、推奨安全停止の無視の警告はありません



DIVE TIME:ダイブタイムアラーム (00~360分)
※設定した時間 (分) でアラームが鳴ります。00=アラームオフ



DEPTH: 深度アラーム
※設定した深度でアラームが鳴ります (ビープ音のみ)。00=アラームオフ



【項目の選択・設定の手順】

BまたはD → 設定したい項目を選択

→ Cで決定

BまたはD → 数値の+/-、値の変更

→ Cで決定

PLANNER (ダイブプランナー)

ダイブプランナーの表示:ダイブメニュー → BでPLANNERを選択 → Cボタン

iDive Colorではにはガス設定、前回の潜水を考慮して次のダイビングの減圧不要限界 (NDL) をシミュレーション表示する機能があります。

注意! ダイブプランナーはDIVE SETメニューの**MIXES TABLE (ミックスガス設定)**に設定されているガスを基に計算されます。ご使用の際には、必ず使用するガス設定してください。



DEPTH: 計画しているダイビングの最大深度を入力



TIME: 計画しているダイビングのボトムタイムを入力



EVALUATE: 入力した数値でのシミュレーションをCで実行

シミュレーション後、以下が表示されます。

NDL: ボトムタイム設定後のNDL

CNS: ボトムタイム設定後のCNS% (中枢神経系酸素中毒度)

OTU: ボトムタイム設定後のOTU% (酸素毒性ユニット)

※OTUは体全体の中毒に関して使用される略語

MIX: 予測される空気消費量

注意! 表示される空気消費量は一般的なガス消費量に基づいて計算されます。あくまでも参考としてください。



【項目の選択・設定の手順】

BまたはD → 設定したい項目を選択

→ Cで決定

BまたはD → 数値の+/-、値の変更

→ Cで決定

PLANNER (デコプラナー)

デコプラナーの表示:ダイブメニュー → BでPLANNERを選択 → Cボタン

iDive Colorのダイブプラナーを使用しシミュレーションを行うとき、**減圧停止が必要となる計画**では次のような表示がされます。

注意! ダイブプラナーはDIVE SETメニューの**MIXES TABLE (ミックスガス設定)**に設定されているガスを基に計算されます。ご使用の際には、必ず使用するガス設定してください。

使い方は、**PLANNER (ダイブプラナー)**と同じです。

シミュレーション後、以下が表示されます。

DPT: 減圧停止深度 (m)

DT: 減圧停止時間 (分)

RT: エントリーから減圧停止までのダイブタイム

MIX: に使用するガス設定

Bを押すとCNS%、OTU%の表示に切り替わります。

注意! ダイブプラナーでは潜降の速度が18m/分、浮上速度は9m/分で計算されます。

iDive ColorはPPO2の最大を超える減圧停止を赤でハイライトします。



【項目の選択・設定の手順】

BまたはD → 設定したい項目を選択

→ Cで決定

BまたはD → 数値の+/-、値の変更

→ Cで決定

コンパス機能(陸上での表示)

コンパスの表示:時計モードでBボタン



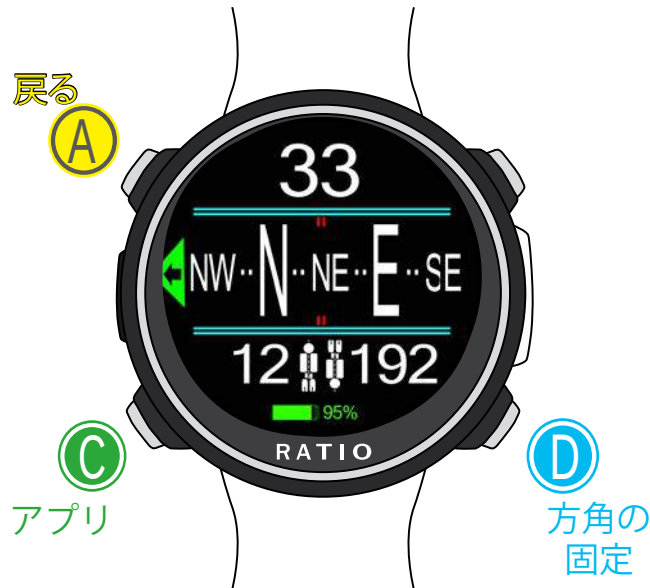
表示単位: 1° 精度: +/-1°

傾斜補正: 85°

※水平を保っていないなくても85°までの傾斜であれば正しく機能しますが、傾斜がきつくなるとコンパスの反応が遅れます。

方角の固定: Dボタン

進行方向をロックできます。固定している方角に対してのずれは下記の様に表示されます。



方角: 12時の位置に数字で表示

方位: 中段にアルファベットで表示



Dボタンで固定した方角の±5°の範囲内



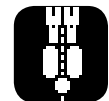
固定した方角が右方向か左方向かを表示した矢印



Dボタンで方角の真逆で±5°以上の範囲内



Dボタンで固定した方角



Dボタンで固定した方角と真逆の方角

注意!
コンパスを正しく表示するには
COMPASS (コンパス設定)が必
要です。

ダイビング中の表示

iDiveは水深2mより深く潜降すると自動的にダイブモードが起動します。通常のスクーバダイビングをメインで行うダイバーは、DIVE MODEを常にSCUBA (スクーバ) に設定しておくことをお奨めします。
設定は**DIVE SET (ダイブ設定パート1)**を参照。



ダイブモードでの表示

メインデータとNDL (減圧不要限界)

アルゴリズム・ダイブモード



ダイブタイム
分:秒秒

最大到達深度

トランスミッター
トランスミッターが接続され
ている場合に表示

NDL
減圧不要限界

PPO2

MIX
使用しているガスミックス

バッテリー残量

水深

浮上速度
白: 8m/分を超える浮上速度
黄 (注意): 9m/分を超える浮上速度
赤 (警告): 10m/分を超える浮上速度



強制安全停止(減圧停止)

減圧停止が必要な場合、以下が表示

-  TTS:Time-to-surfaceの略、総浮上時間(分)
-  STOP:次の減圧停止深度(m)
-  TIME:停止時間(分)※点滅表示



安全停止

安全停止:

水深9mより浅く浮上すると推奨安全停止の指示が表示されます。

安全停止の時間と深度で任意で設定できます。[DIVE SET \(ダイブ設定パート2\)](#) 参照。

※減圧停止が必要なダイビングでは推奨安全停止は省略されます。



-  安全停止時間(分)
-  安全停止深度(m)
-  NDL(減圧不要限界)

ディープストップ



ディープストップを使用する設定の場合、ディープストップを行う深度に到達する5m前の段階で左図の指示が表示されます。
ディープストップを無視した場合はディープストップを行う深度より5m以上浮上すると表示が消えます。

NDLの範囲内でディープストップが行われる場合は、画面中央右側にNDLが黒の背景で表示されます。

-  ディープストップの時間 (分)
-  ディープストップの深度 (m)

-  NDL (減圧不要限界)
または

-  TTS: Time-to-surfaceの略、総浮上時間 (分)
(減圧停止が必要な場合 ※非推奨)

ディープストップは強制ではないため、省略をしてもペナルティはありません。
またディープストップをOFFの状態で行ったとしても、iDive Colorの組織計算に影響がでることはありません。

ダイブモードの詳細画面

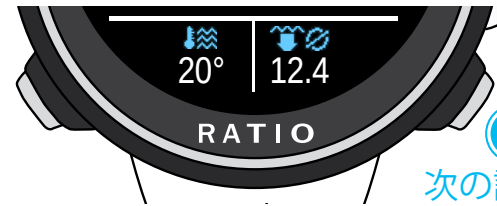
ダイビング中にはメイン画面のほかに詳細画面があります。During the dive in OC

D ボタン左図が順に表示されます。

A ボタンでダイブモードのメイン画面に戻ることができます。



次の詳細へ



次の詳細へ

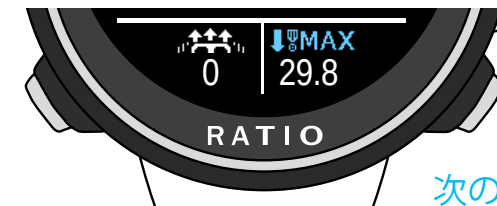


使用しているガス設定

ガス変更が必要な場合、表示が点滅 (ガスを2つ以上設定している場合)



PPO2 (使用しているガスでの酸素分圧)



次の詳細へ



水温



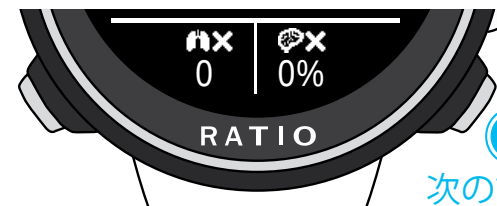
リアルタイムの平均深度



浮上／潜降速度がm／分 (または ft／分) で表示



最大到達深度



次の詳細へ



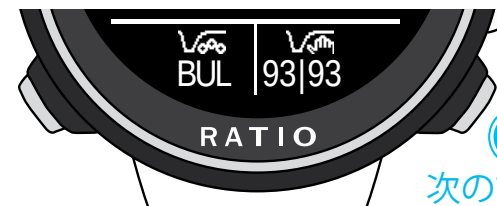
OTU% (酸素毒性ユニット)



CNS% (中枢神経系酸素中毒度)



使用しているアルゴリズムBuhlmann or VPM (iDive Color Deepのみ)



次の詳細へ



アルゴリズムの個人調整値

リアルタイムのダイブプロフィール

詳細画面では以下のリアルタイムの表示も確認できます。



[D](#)
次の詳細へ



平均深度



最大到達深度



水深

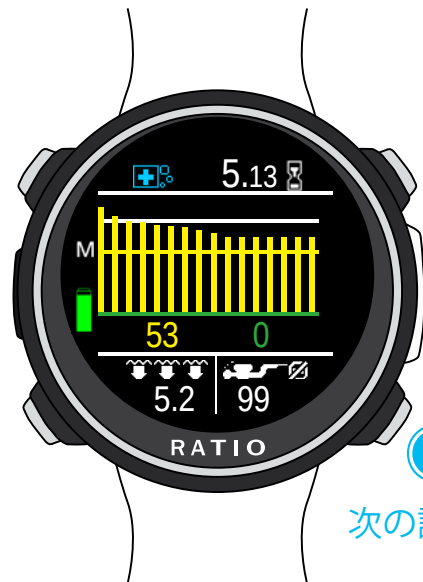


NDLまたはDECOの情報

体内窒素グラフ:

体内に溶け込んだ窒素の度合いがグラフで表示されます。

iDive Colorでは人体の「速い組織」から「遅い組織」までを16コンパートメント(仮想組織)に分類して計算します。ダイブコンピュータは、取り込むことができる最大限の窒素量をコンパートメントごとに計算しながら、減圧不要限界などを表示します。尚、表示はダイビング中のみとなります。



[D](#)
次の詳細へ

黄色のグラフ:体内に溶け込んだ窒素のレベル

水色の水平線:環境圧 (EP) のレベル

※減圧潜水になった場合、赤色のグラフが表示されます。

ダイビング中のデコテーブル

この表示は体内に蓄積された窒素量が多く、複数回の減圧停止が必要な場合のみ表示されます。水面に浮上するまでの状況によりデコテーブルが複数ページにわたり表示されます。

減圧停止が5回以上必要な場合には、**D** ボタンで次のページを表示できます。

このテーブルでは必要な全ての減圧停止と最適なガスを現在の状況を基に表示します。また必要な減圧停止はリアルタイムで更新されていきます。テーブルには必要な減圧停止は以下のように表示されます。



DPT TIME MIX		
Depth of the stop	Stop time	Suggested Mix
12m	1:	50/0

推奨安全停止とディープストップは強制ではないため、デコテーブルには表示されませんが、ダイビングの状況により必要な場合には、推奨安全停止またはディープストップの指示が表示されます

ダイビング中のコンパス表示

コンパスの表示:ダイブモードでBボタン



表示単位:1° 精度: +/-1°

傾斜補正:85°

※水平を保っていないなくても85°までの傾斜であれば正しく機能しますが、傾斜がきつくなるとコンパスの反応が遅れます。

方角の固定:Dボタン

進行方向をロックできます。固定している方角に対してのずれは下記の様に表示されます。



方角:12時の位置に数字で表示

水深:現在の水深(m)が左上に表示

ダイブタイム:右上に表示

方位:中段にアルファベットで表示



Dボタンで固定した方角の±5°の範囲内



固定した方角が右方向か左方向かを表示した矢印



Dボタンで方角の真逆で±5°以上の範囲内



Dボタンで固定した方角



Dボタンで固定した方角と真逆の方角

注意!
コンパスを正しく表示するには
COMPASS (コンパス設定)が必
要です。

ダイビング中のガス切り替え

ガスを2種類設定している場合、最適なタイミングでガス切り替えができるよう、赤色の点滅表示で知らせてくれます。

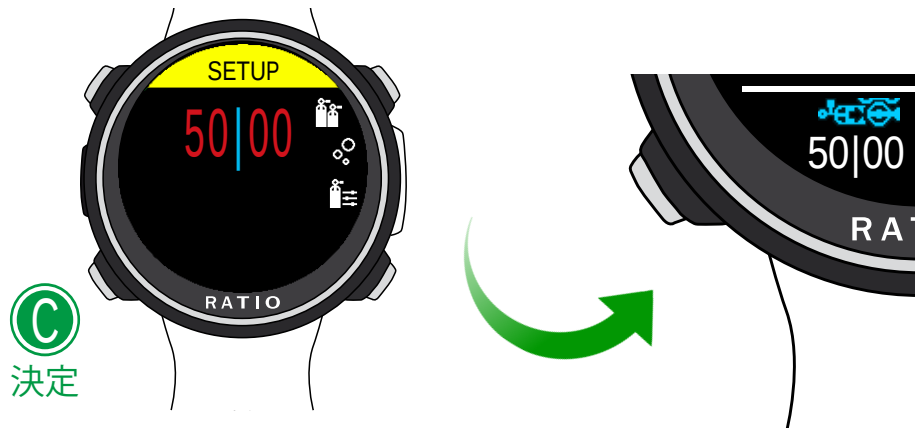
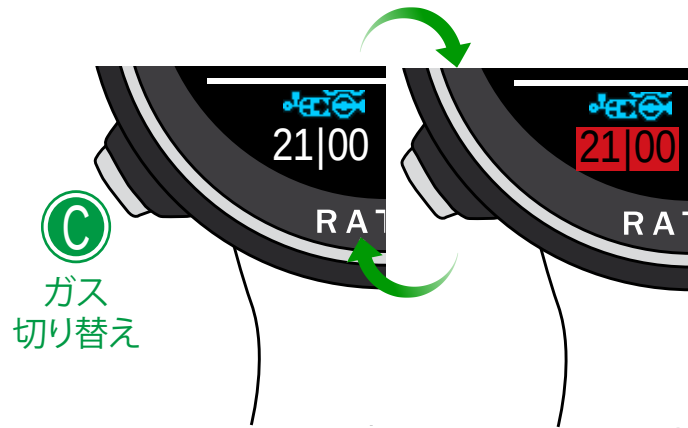
ガスの切り替え方:

C ボタンを押してCHANGE MIX画面を表示します(最適なガスがあるときだけ、画面下段のMIX部分が点滅します)

変更するとき:**D** ボタンでガスを選択、**C** ボタンで決定

決定後に、切り替えたガスがダイブモードの画面左下に表示されます。

注意!もし計画したダイブプランでガス切り替えが行えない状況にある場合(減圧用のタンクが急に使用できない状況に陥ったなど)切り替えは行わないでください。



ダイビング中のダイブ設定変更

ダイビング中には以下の設定を変更できます。



ミックスガス設定:
マニュアルで前もって設定したガスに変更できます。



個人調整:
個人調整値を0～5で変更できます。



ミックスガスのマニュアル変更
マニュアルで有効なミックスの割合を変更できます。



警告!ダイビング中の設定変更はお奨めしません。

2種類以上のガスを使用したダイビング、トライミックスガスを使用したダイビングの講習を受けていないダイバーはこの機能は使用しないでください。
また、ダイビング中に個人調整についても、正しい知識とトレーニングが必要となります。

ゲージモード

ゲージモードでは以下を表示します。

画面上段右:ダイブタイム(分:秒)

画面中段左上:水深(m)

画面中段右上:浮上速度(m/分)

画面中段右下:タイマー(分:秒)

※リセット可(Dボタンで選択、赤く表示されている状態でボタンでAリセット)

画面中段左下:平均深度(m)

※リセット可(Dボタンで選択、赤く表示されている状態でボタンでAリセット)

画面下段左:水温(°C)

画面下段右:最大深度(m)

ゲージモードを使用中、iDive Colorはバックグラウンドで減圧計算を行っています。演算には、GFL 10/ GFH 60の設定が使用され、ログにも記録されます。そのため、ゲージモードを使用後にダイブモードを使用した場合、反復潜水としてみなされます。

注意! バックグラウンドで減圧計算が行われていますが、それらの情報は見る
ことのできないデータとなりますので、通常のダイビングで使用する場合は、
常にダイブモードでご使用いただくことをお奨めします。



フリーモード

注意! 安全上の理由、ダイブモードまたはゲージモードを使用後12時間はフリーモードを**DIVE SET (ダイブ設定パート1)**のDIVE MODEに設定できません。

フリーモードでは以下を表示します。



画面上段右:ダイブタイム(分:秒)

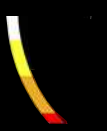
画面中段左上:水深(m)

 画面中段右上:セッション中の最大到達深度(m)

 サーフェスタime

 ダイブナンバー

 水温

 浮上速度グラフ
白: 8m/分を超える浮上速度
黄(注意): 9m/分を超える浮上速度
赤(警告): 10m/分を超える浮上速度

ダイビング後の表示

No-Fly (飛行機搭乗禁止時間)



ダイブモード (OC)、ゲージモード (Gauge) でiX3Mを使用後は画面中央左に飛行機搭乗禁止マークが表示されます。

ゲージモード (Gauge) を使用後は、飛行機搭乗禁止マークが24時間表示されます。飛行機搭乗禁止時間 (残留窒素時間) が0 になるまで飛行機搭乗及び高地への旅行はしないでください。

スポーツダイビングの後の飛行機搭乗による減圧症のリスクを減らす一般的なガイドラインは以下の通りです：

- 無減圧潜水を1本行なった場合、最低12時間の水面休息時間が必要
- 数日にわたり無減圧潜水を行った場合、最低18時間の水面休息時間が必要
- 減圧潜水を行った場合は、最低24時間の水面休息時間が必要

警告!ダイビング後の飛行機搭乗で減圧症を防ぐ保証をするガイドラインはありません。

サーフェス表示

ダイブモード、ゲージモードでダイビング後、iDiveは水面休息に関する情報を表示します。この表示は水面に上がってから10分後にダイブモード、ゲージモードの画面で確認できます。



残留窒素時間



飛行機搭乗禁止時間



サーフェスタйм

iDive Colorのログ管理とファームウェアのアップデート

iDiveはPC/Macに接続し以下のことができます。
用途によって使用するソフトウェアが異なります。

①Ratio Toolbox

- ファームウェアのアップデート
- 時刻調整
- 言語変更(英語、ドイツ語、イタリア語) 2019年3月現在
- ユーザー設定のリセット

②Subsurface (英語) 2019年3月現在

- ログのデータ転送
- ログの管理

Windows用

- [Ratio Toolbox](#)
- [Subsurface](#)

Mac用

- [Ratio Toolbox](#)
- [Subsurface](#)

注意:上記のリンクは変更されることがあります。その場合は、[Ratioサポートページ](#)よりご確認ください。

コピーライト

本書及びその内容はRATIO® Computers及び株式会社エフエル・コーポレーションに帰属します。
本書はRATIO® iDiveの所有者に対して操作方法に関する知識および基本的な情報を提供する目的で作成されています。
RATIO® Computers の書面による同意なしに、上記以外のために本書の内容を使用または供給及び転送、公開、複製することは禁じられています。

免責事項

本製品RATIO®iDiveはレクリレーションでの使用のみを目的としています。RATIO®iDiveは職業ダイバー用、専門家、産業用で精密、実験レベルの精度が要求される計測を行うために使用することはできません。

お問い合わせ

株式会社エフエル・コーポレーション
<http://www.flcorp.co.jp/>
flco@mb.infoweb.ne.jp

© 2019 - MMXIX

The reproduction, even partial, without stated approval is severely prohibited
RATIO® Computers.

